

基本情報

指標番号

2143

名称

退院後7日以内の予定外再入院割合

分母

退院症例数

分子

分母のうち、前回退院から7日以内に計画外で再入院した症例

指標群

マネジメント

意義

マネジメント

年度

2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット

DPC 様式1

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち入院経路が一般入院を対象とする2010～2013年度「2」、2014年度～「1」「4」「5」
3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. 前回退院日が今回の入院日から7日以内で、再入院調査の再入院種別が計画外の再入院である症例数（2012年度～2015年度 3. 予期せぬ再入院、2016年度～ 2. 計画外の再入院）
2. 再入院種別が、『2：計画外の再入院』かつ、理由の種別が『6:新たな他疾患発症のため』以外（2012年度～2015年度1-3、5-6、2016年度～1-5、もしくは7の症例）

その他

薬剤一覧の出力

いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

医療の質測定 定義書

更新日：2022年8月8日

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

昇順

測定上の限界・解釈上の注意

参考資料

参考値

参考資料

1. 再入院調査は、前回退院年月日より6週間以内の再入院である場合の親様式1は入力必須となる。指標で利用している再入院種別は、2012年度～2015年度は3つに区分（1：計画的再入院、2：予期された再入院、3：予期せぬ再入院）され、2016年度からは2つに区分（1：計画的再入院、2：計画外の再入院）されている。なお、2012年度から2015年度の3：予期せぬ再入院としては理由は5区分（1：予期せぬ原疾患（前回入院時に医療資源を最も投入した傷病）の悪化、再発のため 2：予期せぬ原疾患の合併症発症のため 3：予期せぬ併存症（前回入院時の入院時併存症及び入院後発症疾患）の悪化のため 4：新たな他疾患発症のため 5：その他）が設定されており、2016年度からの2：計画外の再入院は7区分（1：原疾患（前回入院時の主傷病と医療資源を最も投入した傷病）の悪化、再発のため 2：原疾患の合併症発症のため 3：前回入院時の入院時併存症の悪化のため 4：前回入院時の入院後発症疾患の悪化のため 5：前回入院時の手術・処置や治療の合併症が退院後に発症したため 6：新たな他疾患発症のため 7：その他）が設定されている